

大企業は「非正規切り」やめ雇用責任を 人間らしい労働のルールを

企業・団体献金を受け取らない政党だから
財界・大企業にズバリと物が言えます

残業時間を規制し、労働時間を抜本短縮

正規も非正規も「均等待遇のルール」を確立

労働者派遣法の抜本的改正

日本共産党は
実行します

大企業が現行労働法をまもるよう企業にも、政府にも要求

最低賃金の大幅引き上げ、雇用・失業保険の抜本的充実

大企業が競い合って「非正規切り」をすすめるなかで、失業率は5%を越えるまでに上昇、一大社会問題となっています。日本共産党は雇用破壊を止め、人間らしく働ける労働のルールを確立するために労働者のたたかいとむすんで全力をあげています。

正社員化を求めてキャノンを提訴 “勤続9年”非正規社員5人 塩川議員が「支える会」結成総会にかけつけ激励

キャノン宇都宮事業所の期間社員でつくる「キャノン非正規労働者組合」の組合員5人が同社を相手取り、正社員化などを求める訴訟を東京地裁

企業でたたかいに立ち上がった意義を強調して激励、日本共産党も全力をあげて共に闘う決意を表明しました。

に起こしました。これを支援し勝利させようとキャノン非正規「支える会」の結成総会が開かれました。原告は最長で9年も勤続。偽装請負から派遣、再び偽装請負にされて就労しており、職安法や派遣法に違反して請け負いや派遣契約は無効と主張。大野労組支部長は「キャノンとたたかいなんとしても正社員化を勝ち取る」と述べました。塩川議員は経団連会長



「キャノン非正規労組を支える会」結成集会であいさつをする、塩川衆院議員

一人で悩まないで相談を



連絡先

「解雇といわれた。どうしよう」でも、あきらめないでください。ピンチになったあなたを助ける制度があれば、仲間もいます。
日本共産党は、全国で「生活・労働相談」にとりくんでいます。なんでもお気軽に相談してください。